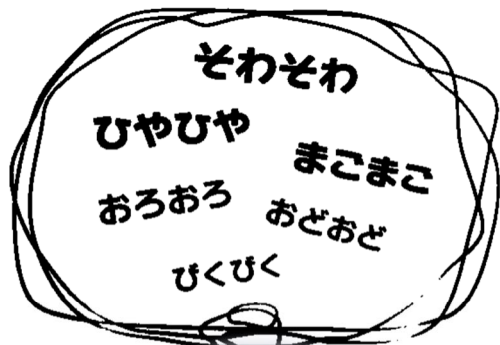


# 横川っ子だより



とくべつしえんきょういく こ ところ  
特別支援教育で 子どもの心がひらく



こ とくせい ちゅうすうしんけい う  
子どもの特性において、中枢神経が生  
まれつきうまく働かない子、得意・  
ふとくい き おお こ じょうきょう ただ  
不得意の差が大きい子、状況を正しく  
りかい ふうん き も こ  
理解できずに不安な気持ちになる子が  
います。そんな子どもの困り感を減らし、  
「自分ならできる」という自己効力感  
じぶん し ことうりよくかん  
を育てる場所が特別支援学級です。



しんだん ひと よわ  
診断がなくても、「人づきあいの弱さ」  
「やりとりの弱さ」「こだわり」の特性、  
よ か けいさん よわ とくせい  
「読み、書き、計算の弱さ」の特性や、  
ふちゅうい しょうどうせい たどうせい とくせい  
「不注意・衝動性・多動性」の特性を  
もった子どももいます。



とくべつしえんがっきゅう こ とくせい おう きょういくかてい へんせい こま たいおう  
特別支援学級では、子どもの特性に応じて教育課程を編成し、きめ細かな対応  
かのう こ あんしん じゅぎょう さんか かくじつ ふ  
が可能になるので、子どもは安心して授業に参加し、できることが確実に増えます。

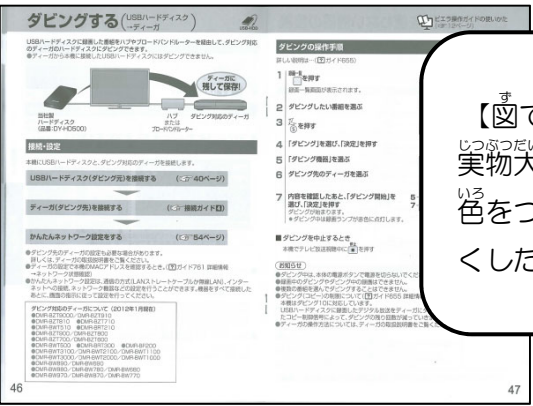
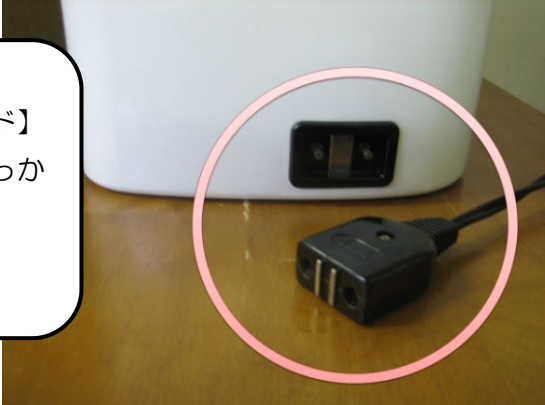
わたし こ りかい しえん だいいっぽ とら なに なに  
私たちは、子ども理解が支援の第一歩と捉え、「何がわかって、何がわからない  
のか」「何が好きで、何が苦手か」「何をしていると落ち着くか、どんなとき怒るか」  
うれ おこ かな ひょうげん こ りかい とお  
「嬉しいとき、怒ったとき、悲しいとき、どう表現するか」など、子ども理解を通  
とくい み の  
して、得意なことを見つけ、それをさらに伸ばしていきます。

また、子どもが何かを成し遂げたいとき、その子が抱く困り感を減らす指導支援  
ごうりてきはいりよ たいせつ  
(合理的配慮)を大切にしています。

こうりてきはいりよ にちじょうせいいかつ なか かん  
 「合理的配慮」を日常生活の中におきかえると、こんな感じです。



【マグネット付電源コード】  
 うっかりコードに足を引っかけてもすぐに外れるから  
 安心・安全です。



【函で示した取扱説明書】  
 じつぶつだい しやしん もじ  
 実物大の写真を載せ、文字に  
 色をつけたり、サイズを大き  
 くしたりして見やすいです。



じゆぎよう なか こうりてきはいりよ  
**授業の中の合理的配慮**

- 子どもが見通しをもって学習できるよう、タイムタイマーや手順書、個別のスケジュール、リマインダーなどを有効に活用したり、学習課題をスモールステップで提示したりしています。
- 子どもに刺激を与えすぎないように、ついでに、カーテン、遮音のためのイヤーマフなどを有効に活用した教室環境を整備しています。
- 子どもの学習面での苦手なことや偏りについて理解し、一人一人の違いを大切にしながら、努力や達成を認め、励ましていくようにしています。
- 必要に応じてクールダウンスペースを有効に活用し、いつでも気分が落ち着けるようにしています。

人はだれでも、「自分を認めてもらった」と実感すると、「自信」をもつことができます。  
 横川小では、子どもが真ん中にある学校づくりを進める中で、これからも子どもの特性を理解し、一人一人を大切にしていきます。

特別支援教育に対してご理解くださいますようお願いいたします。

